

南北方言データから読み取る「着」の文法化過程—持続と完了を中心に—

沈 力
lshen@mail.doshisha.ac.jp

2013年7月14日(日)
同志社大学寧静館5階会議室

“着”の特徴と問題点

- 現代北京語の“着(zhe=継続標識)”は進行も持続も表すことができる。

- (1) a. 他 家 点 着 灯 呢。 →持続
3sg home turn on DUR light MOD
‘彼の家は電気がついている。’
b. 他 吃 着 饭 呢。 →進行
3sg eat PROG food MOD
‘彼はご飯を食べている最中だ。’

2

- 温州方言の“着(z1=at)”は目的語“搭(ta=there)”をとって進行を表す用法があるのに対して、北京語にはその用法がない。

(2) 温州方言“z1ta(着搭=at there)” Cf. 潘悟云(1996:254-284)

- a. 我 着 搭 吃 饭。 →進行
1sg at there eat food
‘私はご飯を食べている最中だ。’
b. 门 开 着 搭, 屋底 <没 有 人>。 →持続
door open at there room NEG exist person
‘ドアが開いているが、部屋には人がいない。’

(3) 現代北京語

- a. 他 在 (*那儿) 吃 饭 呢。 →進行
3sg at there eat food MOD
‘彼はご飯を食べている最中だ。’
b. 他 *着 (那儿) 吃 饭 呢。 →進行
3sg at there eat food MOD
‘彼はご飯を食べている最中だ。’

3

- 古代漢語の“着”に完了相の用法があるのに対して、現代北京語の“着”にはその用法がない。

(4) 宋代-元代漢語(Cf. 王力1958:311)

- 楊志 因 等候 我 了, 犯 着 這 罪。
Yangzhi because wait 1sg PERF commit PERF this crime
‘楊志は僕を待っていたので、この罪を犯した。’
(『宣和遺事元集』, 南宋?)

(5) 現代北京語

- 我 买 了 /*着 一个 碗。
1sg buy -PERF /-DUR one-CL ball
‘ぼくは茶碗を一個買った。’

- 疑問: 北京語の“着”はどのようなプロセスでアスペクト標識になったのか。
1. <付着>義を持つ“着”はなぜ継続相だけではなく完了相も担えるのか。
2. 本動詞の“着”はなぜ北京語で介詞ではなく、接尾辞になるのか。

4

先行研究

- 王力(1958:308-309)の文法化仮説
付着動詞→方位介詞→[完了相・持続相]→持続相

(6) 付着(ある状態に付着)
皆悉 疲乏, 染 著 睡眠. (『佛本行集經』, 16)
all be tire covet stick to sleep
‘みな疲労して眠をむさぼっている.’

(7) 到着(ある場所に到着)
先 擔 小兒, 度 著 彼岸. (『賢愚經』3)
first carry child cross arrive equinoctial week
‘まず小さな息子をかついで, 向こう岸にわたりついた.’

5

- 梅祖隣(1981, 1988)の文法化仮説
結果構文が「介詞構造→[完了相・持続相]」の派生の源であると主張。
A類: “動態動詞-着(=到) NP”(六朝時代)→完了相
B類: “静態動詞-着(=在) NP”(六朝時代)→持続相
(Cf.徐丹(1992, 1995), 吳福祥(2001, 2002, 2004))

(10) “着(=到)”→完了
a. 負 米 一[角斗], 送 著 寺中. (『六度集經』III, 23下)
carry rice one-CL send arrive temple-inside
‘コメを1宕負い, 寺の中へ送る.’
b. 只 見 老大 忽然 死 著, . . . (『朱子語類輯略』, 210)
only see boss suddenly die PERF
‘ボスが突然死んだと見て, . . .’

(11) “着(=在)”→継続
a. 埋 着 地中. (『李陵』, 91)
fill in ground-inside
‘地下に埋める.’

7

- (8) 存在(ある場所に存在)
其 身 坐 著 殿上. (『六度集經』2)
that body sit at palace
‘その身は殿上に坐していた.’
- (9) a. 漁翁 醉 著 無 人 喚, . . . (唐代漢詩:韓偓詩)
fisherman be drunk -DUR NEG person call
‘漁翁は酔っているが, かれを呼ぶ人がいない.’
b. 只 見 老大 忽然 死 著, . . . (『朱子語類輯略』, 210)
only see boss suddenly die PERF
‘ボスが突然死んだと見て, . . .’

- 王力によれば, 完了・持続の混用は“着”の発展プロセスを反映する。元代までは“着”の持続相と完了相の違いは明確ではないが, 明代以降には, “着”は持続相, “了”は完了相という分岐が明らかになっている。

- 沈コメント:
“着”が方位介詞ならば, なぜ歴史資料に[[着NP] VP]の用法がないのか。

6

- b. 卿 与 寡人 同 記 著, (抄名録姓莫因循).
2sg and 1sg together remember DUR.
‘君と僕はともに覚えておこう, 名と姓を書き写すことは古いしきたりに
こだわらべからず.’ (『敦煌變文集/捉季布』)
- 沈コメント:
a. 北方方言では, 持続相を担う“着”が接尾辞であるのに対して, 南方の温州方言では, “着”は[[著+場所名詞]VP]という介詞句を形成し, 進行を表しているのはなぜか。
b. “静態動詞-着(=在) NP”のような存在動詞ならば, なぜ古今とも“着”の継続用法には場所目的語の痕跡が見られないのだろうか。
- (3) 温州方言の“搭”→場所目的語の名残
b. 門 开 着 搭, 屋底 <没 有 人>.
door open at there room-in NEG exist person
‘ドアが開いているが, 部屋には人がいない.’

8

提案

- 手段: 言語分析の資源として, 方言事実を発掘しよう.
 - 東南方言と北方方言の比較
 - 現実と史実の比較
- 北京語の“着”の継続標識化のプロセスを探る.
 - 従來說: 着 (=在: 方位介詞) → 継続相
 - 本提案: 着 (=到: 変化動詞) → 完了相 → 継続相
- 諸方言の事実による根拠:
 - 変化動詞と“着”の生起位置の類似性
 - 存在動詞と“着”の生起位置の差異
 - 完了相と継続相の兼務可能性 (変化動詞: ○; 存在動詞: ×)
 - 変化動詞由来のアスペクト標識の基本機能と派生機能

9

根拠1: 変化動詞と“着”の生起位置の類似性

- 連結動詞構造とその制約
連結動詞構造は動詞または動詞句を時間軸上に並置することによって形成されている。並置する順序は、連結する2つの動詞(句)のイベント性によって決まる。両者は共にイベント性を持っていれば、継起関係配置規則に基づいて並置するが、片方がイベント性を持っていないならば、文法関係配置規則に基づいて並置する。
 - ★ 継起関係に基づく配置規則 (Iconicity Rule)
2つの連結動詞xとyがどちらもイベント性を持っていれば、両者は事態の発生順序(E1>E2)に基づいて並ぶ。
 - V1(E1)+V2(E2)
 - *V2(E2)+V1(E1)

10

(12) 語順: 時間順

- a. 張三 [去 京都] [学 日語]
Zhangsan go Kyoto learn Japanese
- b. ?張三 [学 日語] [去 京都]
Zhangsan learn Japanese go Kyoto
'張三は京都に行って日本語を学んだ.'

(13) 根拠: 完了標識がV2に生起し, V1の完了まで解釈できる.

- a. 張三 [去 京都] [学 -了 日語]
Zhangsan go Kyoto learn PERF Japanese
- b. ?張三 [去 -了 京都] [学 日語] 複文ならOK
Zhangsan go PERF Kyoto learn Japanese
'張三は京都に行って日本語を学んだ.'

- 変化動詞は継起関係を持つ連結動詞構造においてV2の位置に生起する.
 - 「行為+変化」は自然 → 結果構文形成へ
 - 「変化+行為」は不自然

11

(14) 行為+変化(結果構文)

- a. 張三 [学 日語] [-到 -了 五十岁]
Zhangsan learn Japanese arrive PERF fifty-year
- ↓
- 張三 [学_i 日語] [学_i -到 -了 五十岁]
Zhangsan learn Japanese VC arrive PERF fifty-year
'張三は日本語を五十才まで学んだ.'
- b. #張三 [到 五十岁] [学 日語] → 複文ならOK
Zhangsan arrive fifty-year learn Japanese
'張三は五十才になったあと、日本語を学ぶ.'

- 北方諸方言の継続標識は、変化動詞由来ならば、継起関係配置規則に従わなければならない。すなわち、V1+V2の構造では、V2の位置にしかられないということが予想される。

12

- 予想通り、晋語などでは、“着”は変化動詞であるので、V2の位置に来ている。

(15) 山西平遥方言の変化動詞“着”:動詞に後続

uA?23 tcia13 p'ɔ53 tiA?54 ta35 mɤŋ13 k'xu53 zA?23 la31.

兀-家 跑 着 大 门口儿 啦
3sg run arrive big entrance MOD

‘かれは玄関まで走った。’

(16) 山西平遥方言の継続標識“着”:動詞に後続

a. uA?23 tcia13 tiA?54 xux13 tsuA?23 tsuA?54 tiA?54 tɤŋ13 liA?23.

兀家 的 房子 着 着 灯 咧
3sg GEN house turn-on DUR light MOD

‘彼の部屋は電気がついている。’

b. uA?23 tcia13 tɕ'ʌ?23 xuaŋ35 tiA?54 liA?23.

兀-家 吃 饭 着 咧
3sg eat food PROG MOD

‘彼はご飯を食べている最中だ。’

13

根拠2:

存在動詞と“着”の生起位置の差異

- 中国語の連結動詞構造では、片方の動詞句がイベント性を持っていないければ、次の同時関係配置規則に基づいて並置する。

★同時関係に基づく配置規則

連結する2つの動詞xとyのうち、xがyの実現の前提条件であれば、yに先行するが、そうでなければ、yに後続してyの補足説明を表す。

- “在”は存在動詞であり、イベント性を持たない。したがって、それは同時関係配置規則に従い、連結動詞構造のV1とV2のいずれかの位置にも生起できる。もし、“着”が変化動詞由来ならば、イベント動詞の前と後どちらにも生起できるはずはない。

14

(17) a. 张三 [在 床上]_[EVENT] 睡 -了]. →“睡”の前提条件

Zhangsan at bed sleep PERF

‘張三はベッドで寝た。’

b. 张三 [EVENT 睡] [在 床上]. →“睡”への補足説明

Zhangsan sleep at bed (“睡”: +存在義)

‘張三はベッドで寝る。’

(18) a. 张三 [在 外边]_[EVENT] 玩]. →“玩”の前提条件

Zhangsan at outside play

‘張三は外で遊んでいる。’

b. *张三 [EVENT 玩] [在 外边]. →“玩”への補足説明

Zhangsan play at outside (“玩”: -存在義)

‘張三は外で遊んでいる。’

- 東南諸方言の継続標識が存在動詞であれば、動詞の前・後どちらにも生起できるはずである(生起位置により文法関係は異なる)。逆に、東南諸方言の継続標識が変化動詞ならば、動詞の後にしか生起しないはずである。

15

- 蘇州方言: Cf. 石汝杰(1996), 刘丹青(1996:27)

“勒海(在那里)”は存在動詞であるため、動詞の前と後どちらにも生起し、進行または持続を表す。

(19) a. 摆 点 醋 勒海。 →補足(場所)

put in a little vinegar at-there

‘中へお酢をすこし入れなさい。’

b. 我 勒海 奔 勒, 勿 觉 著 冷。 →前提(進行)

Isg PROG run MOD NEG feel cold

‘ぼくは走っているので、寒く感じない。’

c. 屋里 灯 齐 亮 勒海, 肯定 有 人 个。 →補足(持続)

room light all turn-on DUR surely have person MOD

‘部屋の中の電気がついているので、きっと誰かがいる。’

- 徽州休寧方言: Cf. 平田昌司・伍巍(1996), 平田昌司(1998)

“是个仝(at there)”は存在動詞であるため、蘇州方言の“勒海”と同じ振舞いをする。

16

(20) a. 渠 是 个 伙 吃 饭. →進行

3-sg at here eat food

‘彼はご飯を食べている最中だ.’

b. 门 开 个 伙 个 伙, 里 头 没 得 人. →持続

door open here here inside NEG-exist person

‘ドアが開いているのに、中にはだれもいない.’

■ 汕头方言: Cf. 施其生(1996:172)

進行標識“lo53(裸=at)”と持続標識“to35(短=at)”は分化しているが、どちらも存在動詞由来である。

Cf. “to53-ko213(短块=at there)→to53→lo53”と“to35(短=at)”

(21) a. 我 裸 食 饭. Cf. 施其生(1996:172)

1sg at eat food

‘僕がご飯を食べている.’

b. 厨房 支 灯 通 暝 开 短. Cf. 施其生(1996:175)

kitchen one-CL light all-night turn-on -at

‘厨房の電気は一晩ついてた.’

17

■ 温州方言: Cf. 潘悟云(1996:254-284)

“zɿta(着搭=at there)”は北方方言の“着”と違って、存在動詞由来である。

(22) (=3)

a. 我 着 搭 吃 饭. →進行

1sg at there eat food

‘私はご飯を食べている最中だ.’

b. 门 开 着 搭, 屋 底 <没 有 人>. →持続

door open at there room-in NEG exist person

‘ドアが開いているが、部屋には人がいない.’

■ 金華湯溪方言: Cf. 曹志耘(1996:285-310)

(23) a. 渠 是 达 吃 饭. →進行

3sg at there eat food

‘彼はご飯を食べている.’

b. 门 开 达, 里 面 无 人. →持続

door open -there inside NEG-exist person

‘ドアが開いている。中には人がいない.’

18

根拠3:

完了と継続の兼務可能性

■ 連結動詞構造は、変化動詞が結果構造のV2の位置に生起することが保障されるのに対して、存在動詞はV2の位置に生起することが許されない。結果構文: V-[_{BECOME} V (NP)]

(24) a. 他 跳 到 床 上. →結果: “跳得到床上”

3sg jump arrive bed

‘彼はベッドにジャンプした.’

b. 他 躺 在 床 上. →非結果: “*躺得在床上”

3sg lie at bed

(“躺”への補足)

‘彼はベッドに寝る.’

■ 完了標識は結果構造から派生している。Cf. 梅祖隣(1988)

19

(25) 結果構文のV2→完了標識

a. 这 件 事 就 这 么 了 了. →本動詞

this-CL matter then like this finish PERF.

‘このことはこのように終わった.’

b. 这 些 饭 你 吃 得 了 吗? →結果構文のV2

this-CL food 2sg eat -can- finish MOD

‘これらのご飯は、君は食べ終わられるのか.’

c. 吃 -了 饭 了. →完了標識

eat PERF food MOD

‘ご飯を食べた.’

■ 予想:

継続相の“着”が変化動詞由来であれば、完了相と兼務することが可能であるが、存在動詞由来であれば、完了相と兼務することができない。

20

(26) 長沙方言における変化動詞由来の“ta²¹”: 兼務可能

a. 把 門 关 -**哒** →結果

DISP door close RESULT

‘ドアをびったりと閉めなさい.’

b. 我 买 -**哒** 书 -**哒** →完了

1-sg buy PERF book MOD

‘私は本を買った.’

c. 你 好生 坐 -**哒** 罗 →継続

2-sg fully sit DUR MOD

‘君はちゃんと坐っていてください.’ Cf. 伍雲姬(1996)

(27) 徽州休寧方言における変化動詞由来の“-tci⁰(着)”: 兼務可能.

a. 我 买 -**着** 一只 碗. →完了

1sg buy-PERF one-CL ball

‘私は茶碗を一個買った.’

b. 渠 家 门 锁 -**着**, 檻儿窗 也 关 -**着**. →持續

3sg house door lock -DUR window also close -DUR

‘彼の家は、ドアもロックしているし、窓も閉まっている.’ (平田・巍1996)

21

■ 元代の北方方言の特徴を反映する《元本老乞大》における“著”は変化動詞由来であることを示す根拠がある。そして、それらの“著”は完了と兼務することができる。

(28) 変化動詞“到”相当

a. 前 不 **著** 村, 後 不 **著** 店 也。(8/3b3-4)

front NEG arrive village back NEG arrive hotel MOD

‘進んでも村には着かず、戻っても宿に着かない.’ →変化動詞

b. 兀那 望 **著** 的 黑 林子 便是 夏店。(46/17a6)

there look arrive COMP black grove BE Xia-hotel

‘あそこに見える暗い林は夏宿だ.’ →変化動詞: 結果

(29) 完了と兼務

a. 爐裏 熱 **著** 將 來。(47/17b6)

stove heat PERF carry come

‘コンロで温めたあと、持ってきてください.’ →変化動詞: 完了

c. 世間 用 **著** 的 是 漢兒言語。(4/2a5-6)

world use PROG COMP BE Chinese

‘世の中で使用されているのは中国語だ.’ →変化動詞: 進行

22

(30) 金華湯溪方言における存在動詞由来の“dz₁113(是)”: 兼務不可能

a. 渠 是 **达** 吃饭。 →存在動詞: 継続

3sg at there eat food

‘彼はご飯を食べている.’

b. 渠 上年 抓 上海 住 来 个把 月. →変化動詞: 完了

3sg last year at Shanghai stay come several month

‘彼は去年上海で数か月住んだ.’ Cf. 曹志耘(1996:285-310)

(31) 蘇州方言における存在動詞由来の“勒”: 兼務不可能

a. 我 勒**海** 奔 勒, 勿 觉**着** 冷。 →存在動詞: 継続

1sg at there run MOD NEG feel cold

‘ぼくは走っているので、寒く感じない.’

b. 一夜天 自来水 就 冰 **脱** 哉. →変化動詞: 完了

one-CL water at once be frozen go out MOD

‘一晩だけで、水道の水が凍ってしまったよ.’ Cf. 石汝杰(1996)

23

(32) 温州方言における存在動詞由来の“z₁(着)”: 兼務不可能

a. 我 着 **搭** 吃饭. →存在動詞: 継続

1sg at there eat food

‘私はご飯を食べている最中だ.’

b. 起 **爻** 三间 屋子. →変化動詞“fu⁵⁵”: 完了

build go out three-CL house

‘三軒の家を建てた.’

c. 起 **起** 三间 屋子. →変化動詞“tci⁵⁵”: 完了

build appear three-CL house

‘三軒の家を建てた.’ Cf. 潘悟云(1996:254-284)

(33) 汕头方言における存在動詞由来の“lo⁵³(裸)”: 兼務不可能

a. 我 裸 食 飯. →存在動詞: 進行

1sg at eat food

‘僕はご飯を食べている.’

b. 我 买 -**了** 撮 牛肉丸. →変化動詞: 完了

1sg buy PERF a little beef -ball

‘ぼくは牛肉団子を少し買った.’ Cf. 施其生(1996:172)

24

根拠4

蔡橋方言の条件付きの継続標識

- 根拠3では、変化動詞由来の継続標識は完了標識を兼務可能であることを観察した。では、両者を兼務するアスペクト標識にとって、継続と完了は両方とも一時的な機能なのだろうか。
- 以下の湖南蔡橋方言の事実は、変化動詞由来のアスペクト標識にとって完了相が**一次的な機能**であり、継続相は**二次的機能**であることを示している。
 - 湖南蔡橋方言の“təu²¹(倒=付着)”と“tci²¹(起=客体の出現)”変化動詞が継続相を担う場合、存在介詞句との共起が必須条件である。Cf.王振宇(2013)

25

- 湖南蔡橋方言：Cf. 王振宇(2013)

蔡橋方言では、変化動詞由来の継続相は完了相と兼務することができる。

- “təu²¹(倒=客体の付着)”：完了標識，継続標識
- “tci²¹(起=客体の出現)”：完了標識，継続標識

(34) “təu²¹”と“kuə²¹(刮=客体の離脱)”の違い：

- a. 我 杀 kuə²¹/*təu²¹ 两只 鸡。
1-sg kill PERF / PERF two-CL chicken
‘私は鶏を二羽屠った。’
- b. 我 杀 *kuə²¹/təu²¹ 鸡， 在我屋 吃饭 呐。
1-sg kill PERF / PERF chicken at 1sg home eat food MOD
‘私は鶏を屠っている。私の家でご飯を食べましょう。’

Cf. “kuə²¹(刮=客体の離脱)”は“去”由来の可能性があり、陳澤平1992。

- 付着を表す“təu²¹”が継続相と兼務することが可能であるのに対して、離脱を表す“kuə²¹”は継続相と兼務できない。

26

- 倒(təu²¹)は継続相として働く場合、時間的な継続解釈を補強するために、空間的な存在を表す文脈が必要である。

(35) a. 己摊人 吃 -təu²¹ 酒 *(在 米里). Cf.王2013:(3-2-187)

3pl eat PROG alcohol at there 進行:場所PP

b. 己摊人 *(在 米里) 吃 -təu²¹ 酒.

3pl at there eat PROG alcohol

‘彼はそこでお酒を飲んでいる最中だ。’

(36) 锅里 整 -təu²¹ 菜. Cf.王2013:172

pan cook -PROG food 進行:存在構文

‘誰かが鍋で料理を作っている最中だ。’

(37) a. 老李 倚 -təu²¹ *(在 米里). Cf.王2013:(3-2-181)

Laoli stand -DUR at there 持續:場所PP

b. 老李 *(在 米里) 倚 -təu²¹.

Laoli at there stand -DUR

‘李さんはそこに立っている。’

27

- “起(tci²¹=客体の出現)”も同様である。

(38) a. 己 洗 -tci²¹ 蛮多 苹果. 完了:条件なし

3sg wash PERF very many apple

‘彼はたくさんのリンゴを洗った。’

b. 张三 *(在 米里) 行 -tci²¹. 進行:場所PP

zhangsan at there walk PROG

‘張三はそこを歩いている。’

c. 己 *(在 门 边) 倚 -tci²¹. 持續:場所PP

3sg at door-side stand DUR

‘彼は玄関のところで立っている。’

(39) 墙上 写 tci²¹ 字. 存在文

wall-up write exist letter

‘壁には文字が書いてある。’

- “倒(təu²¹)”にする“起(tci²¹)”にしろ、変化動詞なので、方位介詞として動詞に先行して進行を表す用法はない。その意味で、北京語の“着”と同様である。

28

結論

- 北方諸方言の継続相“着”は、変化動詞に由来する。
 - 根拠1. 継続標識の生起位置は変化動詞と同じである。
 - 根拠2. 継続標識は完了相を兼ねることが可能
- 東南諸方言の継続相は、存在動詞に由来する。
 - 根拠1. 継続標識の生起位置は存在動詞と同じである。
 - 根拠2. 継続標識は完了相を兼ねることができない。
- 蔡橋方言の継続標識は、変化動詞に由来し、基本機能は完了。
 - 根拠1. 変化動詞由来の完了標識の生起は無条件である。
 - 根拠2. 変化動詞由来の継続標識の生起は条件つきである。
- 中国語における動詞のアスペクト標識化の原則の提案
 - もしxが**変化動詞**ならば、そのxは必ず動詞の後に生起し、**完了機能**を持ちうる。さらに、そのxが**出現義**を持たなければ、**継続標識**と兼務できる。
 - もしxが**存在動詞**ならば、当該xは動詞の前または後に生起し、**継続機能**を持ちうるが、完了機能と兼務できない。

29

■ 参考文献

- 陳澤平. 1992. 「试论完成貌助词“去”」, 『中国語文』第二期.
- 陳前瑞. 2008. 『漢語體貌研究的類型學視野』, 北京: 商務印書館.
- 侯精一. 1982. 『平遥方言簡志』, 『語文研究』增刊.
- 侯精一. 1999. 『現代晉語的研究』, 北京: 商務印書館.
- 劉勛宁. 1985. 「現代漢語句尾“了”的來源」, 『方言』第二期.
- 劉丹青. 1995. 「無錫方言的體助詞“則(仔)”和“着”」, 『中國語言學報』6期, 商務印書館.
- 劉丹青. 1996. 「南方方言的體貌標記」, 張雙慶(編)『中國東南方言比較研究叢書: 動詞的體』, 香港: 香港中文大學中國文化研究所吳多泰中國語文研究中心出版.
- 梅祖麟. 1981. 「現代漢語完成貌句式和詞尾來源」, 『語言研究』創刊號.
- 梅祖麟. 1988. 「漢語方言里虛詞“著”字三種用法的來源」, 『中國語言學報』第三期.
- 潘悟云. 1996. 「溫州方言的體和貌」, 張雙慶(編)『中國東南方言比較研究叢書: 動詞的體』, 香港: 香港中文大學中國文化研究所吳多泰中國語文研究中心出版.
- 平田昌司(編). 1998. 『徽州方言研究』, 東京: 好文出版.
- 平田昌司・伍巍. 1996. 「休寧方言的體」, 張雙慶(編)『中國東南方言比較研究叢書: 動詞的體』, 香港: 香港中文大學中國文化研究所吳多泰中國語文研究中心出版.
- 乔全生. 2000. 『晉方言語法研究』, 北京: 商務印書館.

30

- 沈力. 2004. “Aspect Agreement and Light Verbs in Chinese: A Comparison with Japanese,” *Journal of East Asian Linguistics* No. 13, 141-179.
- 沈力. 2008. 「語氣助詞ZHE2的來源—晉方言與北京方言的比較」喬全生(編)『晉方言研究—第三屆晉方言國際學術研討會論文集-』, pp. 223-232, 希望出版社.
- 沈力. 2011. 「山西話的“持續”與“進行”」日本中國語學會第61回全國大會シンポジウム「漢語北方話的進行持續體」, 於松山大學.
- 孫朝奮. 1998. 「再論助詞“着”的用法及其來源」, 收於郭錫良主編『古漢語語法論集』, 北京: 語文出版社, pp. 626-642.
- 徐丹. 1992. 「漢語里的“在”與“着”」『中國語文』第六期, pp. 453-461.
- 徐丹. 1995. 「關於漢語里“動詞+X+地點詞”的句型」『語文研究』第3期, 16-21.
- 王振宇. 2013. 『湘語蔡橋方言的研究』, 東京: 好文出版.
- 王力. 1958. 『漢語史稿』, 北京: 中華書局.
- 太田辰夫. 1958. 『中國語歷史文法』東京: 刀江書院.
- 吳福祥. 2001. 「南方方言幾個狀態補語標記的來源(一)」, 『方言』第四期.
- 吳福祥. 2002. 「南方方言幾個狀態補語標記的來源(二)」, 『方言』第一期.
- 吳福祥. 2004. 「也談持續體標記“着”的來源」, 『漢語史學報』第四輯, 上海教育出版社.
- 伍雲姬. 1996. 「長沙方言動態助詞的系統」伍雲姬(編)『湖南方言的動態助詞』長沙: 湖南師範大學出版社.
- 伍雲姬. 2006. 『湘方言動態助詞的系統及其演變』長沙: 湖南師範大學出版社.

31